

IMF 世界経済見通し（2020年4月時点）

2020年4月15日

**～新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け2020年の世界経済は大幅な景気後退となる見込み  
一方、2021年の世界全体の実質GDP成長率は+5.8%と大幅な回復を予測～**

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は4月14日に発表した世界経済見通しで、2020年の世界全体の実質GDP（国内総生産）成長率見通しを-3.0%に引き下げました。2008年の世界金融危機を超える大幅な景気後退となる見通しです。

2020年の大幅な下方修正は新型コロナウイルスの感染拡大を防止する取り組みによる生産活動の落ち込みが主な要因であるとし、日本を含む主要な先進国はマイナス成長となる見込みです。また、新興国全体もマイナス成長が予測されますが、中国は下方修正ながらプラス成長を維持する見通しとなりました。

今回の危機がこれまでの経済危機と異なる点として、IMFを中心とするより強固な国際金融セーフティネットがすでに脆弱な国々への支援を積極的に実施していることが挙げられ、パンデミックの終息後に世界経済が立ち直ることを大きく後押しすると指摘しています。また、多くの国が実施した迅速かつ大規模な経済政策は経済への打撃が一段と深刻化するのを防ぎ、世界経済の回復の基盤を整えることにつながるとしています。

そうしたことから、IMFは2020年後半に新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられれば、2021年の世界全体の成長率が+5.8%と大幅に回復すると予測しています。但し、今後の状況次第では世界景気が下振れるリスクもあるとしています。

◆ IMF 世界経済見通し 2020年4月時点

	2019年	IMF見通し			
		2020年	前年比	2021年	前年比
世界	2.9%	-3.0%	-6.3%	5.8%	2.4%
先進国	1.7%	-6.1%	-7.7%	4.5%	2.9%
米国	2.3%	-5.9%	-7.9%	4.7%	3.0%
日本	0.7%	-5.2%	-5.9%	3.0%	2.5%
ユーロ圏	1.2%	-7.5%	-8.8%	4.7%	3.3%
新興国	3.7%	-1.0%	-5.4%	6.6%	2.0%
中国	6.1%	1.2%	-4.8%	9.2%	3.4%

（出所）IMFのデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2879 号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。